

新年にあたって

公益社団法人 日本証券アナリスト協会

会 長 新 芝 宏 之 CMA



新年おめでとうございます。初の「令和」の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。今という時代を、平成を振り返りながら改めて考えてみたいと思います。

まず、「経済」です。わが国の過去30年間は、平成元年大納会に日経平均株価が史上最高値を付けた後、バブルが崩壊した「失われた時代」でした。翻って、米国に牽引される今の世界経済はどうでしょうか。リーマンショック以降の中央銀行による金融緩和とトランプ大統領の政策の下、米中冷戦がむしろ過熱感を適度に抑えながら好景気が長期間持続しています。逆に、規制の効きにくい、暗号資産や未公開市場、そして資産運用、不動産等では不安定化の兆しが表れています。小さなバブルが弾けながら世界経済やその鏡である市場は膨張を続けるのか、あるいは大きなバブルが弾けるのでしょうか。

「金融」では「日本版金融ビッグバン」がありました。官僚主導のいわゆる「護送船団方式」が崩壊し、金融システムの破綻危機の下で頓挫したようにも見えた改革ですが、株式委託手数料が自由化され、金融機関の再編が進みました。現在、当局は強力にビジネスモデル改革を推進していますが、既視感を感じるのは私だけでしょうか。米国では株式委託手数料がついにゼロになり、喧伝されてきたGAFAの参入はもはや構想の域を越えつつあり、AlipayやGrab等では既に実現していると言えるでしょう。世界規模で金融というビジネスが、プラットフォームというビジネスモデルに飲み込まれていくような地殻変動の地鳴りが聞こえないでしょうか。

「政治」では、戦後の自民党長期単独政権、いわゆる「55年体制」が崩壊し、政治改革の下で、二大政党制、マニフェスト政治など、実現できなかったことがある一方で、狙いであった官邸主導は実現されました。皮肉かもしれませんが、忖度政治はむしろ予想された結果だったとも考えられます。翻って、世界では、強く、独裁、利己主義にも見える政治のリーダー像は、プーチン大統領に始まり、習近平中国共産党中央委員会総書記、トランプ大統領へと繋がります。議会制民主政治の模範であった英国は惨憺たる現状にあり、民主政治が機能するのか、問い直されているのではないのでしょうか。

「技術」では、インターネットの破壊力は内外を超えて凄まじいものがありました。

かつての産業革命に匹敵する変革を社会、経済に与え、国家、企業、個人などという概念すら変える力があります。今や、GAFAやBAT等が世界を席卷しています。次の時代は第四次産業革命を牽引するAIが世界を変えるでしょう。シンギュラリティの神学論争はともかく、インターネットの前後であらゆる構造が変わったように、いずれ未来の歴史家はAI時代についても、その前後と区分するのではないかと考えます。

「覇権」については、何よりも冷戦構造の崩壊があり、その象徴はまさに平成元年の「ベルリンの壁崩壊」です。当時、社会主義ユートピアが壊れ、素晴らしい世界になると旧ソ連、旧東ドイツ等の人々は期待しました。しかし、米ソの「分断」に対し、今の時代は更に深刻な「新たな分断」に直面していると言えないでしょうか。その一つは米中の分断です。更に、富裕層と貧困層の格差という「もう一つの分断」が社会を不安定化し、ポピュリズムを拡散しています。資本主義ユートピアが危機に瀕していると感じています。

このように、様々な分野で根本から変わるパラダイムシフトが起こっており、私たちは新しい時代を模索していかなければならないのだと思います。

さて、「令和」の新時代における証券アナリスト（CMA）の在り方について考えてみたいと思います。従来、CMAは各種情報分析などを通じて企業価値を適正に評価することが主たる役割とされてきました。しかし、現在は企業価値の評価にとどまらず、企業と投資家の間に行われる建設的な対話の架け橋となって企業価値向上に貢献するなど、より広範な分野において重要な役割を果たすことが期待されています。こうした流れは、今後も一層進むと考えます。CMAは、高度な専門知識や分析技術などを有するとともに、自ら高い倫理観を持つことが求められています。法令諸規則の順守は勿論、プリンシプルをベースに、社会から求められる倫理に沿った良識に基づいて行動することが重要です。CMAの皆さまが金融・投資のプロフェッショナルとして、高度の専門性を維持、向上できるように最新の情報などを提供するとともに、常に高い職業倫理観を有していただくよう働き掛けることにより、金融資本市場の公正な価格形成や日本経済の健全な発展に貢献できるよう引き続き活動してまいります。

本年の干支は「庚（かのえ）子（ね）」です。「庚」は「更」の別号があり、成長した状態が改まり新たな形へ変化する状態を表し、「子」は「孳」に由来し、再び生命が活動し始める状態を表すそうです。五行思想では「庚」は「金」、「子」は「水」となり、「金」と「水」は互いが補い、強め合う「相生」の良い組み合わせとされます。いよいよ56年振りに開催される東京五輪を機に、新たな東京、日本へ進化する未来を期待したいと思います。

本年の皆さまのご健勝とますますのご発展、一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。